

12月3日(火)

公明党



井本 正広議員

質問1

がん在宅療養のAYA世代^(※1)への支援

制度の“はざま”で取り残されているAYA世代へ、がん在宅療養の支援制度を早く導入すべき。



答弁

在宅療養に係る費用の軽減について検討を行っている。引き続き検討を進め、がん患者の方への切れ目のない支援に取り組んでいく。

質問2

介護サービス認定までの期間短縮を

デジタル技術を活用し、介護サービス利用の申請から認定までの期間短縮を望む。

答弁

デジタル技術の導入は、業務の効率化などにつながることを期待されることから、今後もその活用を検討する。

自民党



齊藤 博議員

質問1

肥後六花の伝承に向けた取り組みを

自然に存在しない肥後六花の保存団体への支援体制強化と固有種保存に向けた取り組みを推進いただきたい。



写真提供:熊本城総合事務所

答弁

動植物園で栽培・展示している4品種の肥後六花について、保存団体などと連携し、種の保存や管理手法などの調査・研究に取り組む。

質問2

新庁舎整備での概算事業費上限制度の導入を

今後の事業計画の変更要因や物価上昇率などを加味し、現状想定する概算事業費の上限制度を導入してはどうか。

答弁

物価上昇を中長期的に見込むことは困難。今後も各検討段階における実勢を踏まえた事業費をお示しするとともに、抑制に努める。

熊本自民



北川 哉議員

質問1

均衡ある都市整備を

都市圏北東部の交通渋滞などの課題を踏まえ、熊本市の重心を西南部へ移していく必要性、具体的な施策は。

答弁

今後も広域交通ネットワークの整備を進めるとともに、都市計画の見直しなどにより西南部地域も含め、市域の均衡ある発展につなげる。

質問2

公共交通関連の安全対策・渋滞対策

市電軌道敷内へ自動車などの右折待ちによる渋滞の状況に対し、どのような対策を考えているのか。

答弁

交差点改良による右折レーン追加の検討や時差出勤拡大によるピーク交通量分散、市電の利用促進など、渋滞解消に向け多面的に取り組む。



12月4日(水)

市民連合



山内 勝志議員

質問1

指定管理者への物価高対策

最近の急激な物価高により指定管理者の負担が増えている。適正な価格転嫁の仕組みが必要ではないか。

答弁

本市を取り巻く状況が変化中、指定管理者制度の運用について見直しが必要であると認識しており、現在検討を進めている。

質問2

新しい学校部活動の方針

人材バンクに登録された指導者の責任の所在や質の担保はどうするのか。保護者の費用緩和措置はないのか。

答弁

市が責任を負うことになり、不適切な事案が起きないように仕組みや経済的に困窮する世帯などへの支援制度の構築を検討する。



共産党



井芹 栄次議員

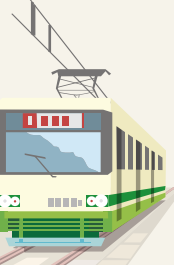
質問1

熊本市電料金値上げの中止を

物価高で市民生活がひっ迫している時の値上げは市民の納得を得られない。料金値上げは中止すべき。

答弁

熊本市電は、人件費・物価高騰などにより極めて厳しい経営状況。乗務員などの処遇改善や安全を再構築するため、理解いただきたい。



質問2

政府が核兵器禁止条約に参加するよう要請を

日本被団協がノーベル平和賞を受賞。唯一の被爆国の日本政府が核兵器禁止条約に参加するよう要求すべき。

答弁

本市も加盟している平和首長会議において、政府に対し一刻も早く核兵器禁止条約に署名・批准していただくよう強く要請している。

創生熊本



松川 善範議員

質問1

多核連携都市における地域拠点の拡充

少子高齢化が進む中、まちづくりセンター及び区役所の機能強化や職員増員など、今後の方針は。

答弁

地域人材の発掘や多様な主体との連携など、地域の実情に応じたまちづくりセンターの強化や、それに伴う職員増員などを図る。

質問2

新市基本計画における合併推進債

実施設計まで至らなかった、未着手事業の今後の市としての考え方、方針は。

答弁

新市基本計画は合併協議会で承認されたものであり、地域の皆さまや議員、関係者の意見を伺いながら引き続き事業推進に努める。



12月5日(木)

無所属議員



井坂 隆寛議員

質問1

旅行者などに本市交通事情の周知を

旅行者が安心して運転できるよう、本市特有の道路事情に関する情報発信について、市長の考えを問う。

答弁

軌道敷がある道路の運転など本市特有の交通事情を多言語で情報発信するとともに、関係事業者に周知の協力を依頼する。

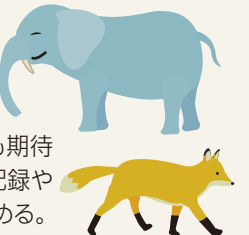
質問2

熊本市動植物園の動物のデジタルアーカイブ^(※2)化

熊本市動植物園100周年に向け、過去に飼育した動物たちの記録をデジタルアーカイブ化してはどうか。

答弁

教育研究資料や教育題材などとしての活用も期待できるため、デジタルアーカイブ化に向けて記録や活用方法について関係部署と連携し検討を進める。



無所属議員



山中惣一郎議員

質問1

老人クラブ連合会の現状と課題

老人クラブの会員が減少しているが、地域における高齢者の活動促進と情報共有にどう取り組んできたか。

答弁

住民主体の通いの場の設置を推進してきたほか、高齢者支援センターささえりあなどにより地域活動の発信や活動支援を行ってきた。



質問2

市電延伸と電停周辺整備の未来像

市電による市民病院へのアクセス改善について、市民病院の利用者目線での見直しが必要ではないか。

答弁

安全面への懸念などにより、電停位置の変更は困難であるため、電停から病院へのアクセス改善や待合環境の整備について検討を進める。